



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社 成学社  
 コード番号 2179 URL <http://www.kaisei-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,565	3.0	334	32.5	640	21.3	380	6.3
29年3月期第3四半期	8,315	2.7	494	18.6	527	10.4	357	3.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 385百万円 (6.8%) 29年3月期第3四半期 360百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	68.88	
29年3月期第3四半期	64.78	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,669	2,613	30.1
29年3月期	6,829	2,285	33.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,613百万円 29年3月期 2,285百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.05		5.05	10.10
30年3月期		5.20			
30年3月期(予想)				5.20	10.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,609	6.6	191	7.6	322	20.5	162	22.6	29.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社個夢

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,876,000 株	29年3月期	5,876,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	350,260 株	29年3月期	350,260 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	5,525,740 株	29年3月期3Q	5,525,740 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境に改善がみられたものの、米国の政権の政策動向や諸外国における地政学リスクの高まり等の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、既存の主力ブランドである「開成教育セミナー」、「個別指導学院フリーステップ」に加え、「かいせい保育園」、「かいせいプチ保育園」をはじめとした保育分野での事業展開、外国人留学生を対象にした「開成アカデミー日本語学校」の開校等、幅広い教育および保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,565,668千円（前年同期比3.0%増）となりましたが、費用の増加を売上高の伸びで吸収できず、営業利益は334,137千円（前年同期比32.5%減）となりました。また、来春開園予定の認可保育所に係る補助金収入（営業外収益）を計上したため、経常利益は640,206千円（前年同期比21.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は380,590千円（前年同期比6.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①教育関連事業

例年ピークを迎える11月時点のグループ生総数（直営教室に限る。）は25,737人（前年同月比2.3%増）となり、部門別では、クラス指導部門8,279人（前年同月比7.0%減）、個別指導部門16,954人（同6.6%増）、その他の指導部門504人（同43.2%増）となりました。クラス指導部門は、クラス指導全体の市場縮小傾向に加え、塾生募集期が低調な結果となったことが年間を通じて影響し、減少しております。一方、個別指導部門は、主力ブランドである「個別指導学院フリーステップ」が堅調に推移するとともに、「開成教育グループ代ゼミサテライン予備校」ではフリーステップ教室に併設する「フリーステップサテラインコース」を設置したことが奏功し、増加しております。その他の指導部門は、「かいせい保育園」の開園、「開成アカデミー日本語学校」の開校が寄与し、増加しております。

売上面においては、グループ生数の増加、フランチャイズ教室の増加、「かいせい保育園」および「開成アカデミー日本語学校」の事業展開が寄与し、セグメント売上高は8,454,088千円（前年同期比3.3%増）となりました。

費用面においては、新ブランドの立ち上がり時期にあたり人件費および設備投資等が先行して発生していること、積極的な広告宣伝活動を実施していることを主要因として費用が増加したため、セグメント利益（営業利益）は359,235千円（前年同期比28.7%減）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

賃貸スペースの一部を自社利用に変更したため、売上高は26,171千円（前年同期比31.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は23,175千円（前年同期比24.0%減）となりました。

#### ③飲食事業

個人消費の伸び悩み等の影響により店舗運営には厳しい環境が続いており、顧客層を明確にした店舗運営を行い、利益面での改善に注力しておりますが、売上高は85,409千円（前年同期比10.4%減）となり、店舗の改装を行ったため、セグメント損失（営業損失）は9,547千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1,820千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末から1,257,990千円(47.7%)増加し、3,894,544千円となりました。これは主として営業未収入金が前連結会計年度に比べ1,011,860千円、その他に含まれる未収入金が同312,226千円増加し、商品が前連結会計年度に比べ32,367千円、現金及び預金が同29,513千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末から582,803千円(13.9%)増加し、4,775,416千円となりました。これは主として有形固定資産が前連結会計年度に比べ530,305千円、投資その他の資産が同55,886千円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末から1,840,793千円(27.0%)増加し、8,669,960千円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末から1,109,097千円(38.0%)増加し、4,027,223千円となりました。これは主として短期借入金が前連結会計年度に比べ715,331千円、前受金が同210,143千円、未払法人税等が同134,927千円、1年内返済予定の長期借入金が同94,769千円増加し、賞与引当金が前連結会計年度に比べ99,722千円、買掛金が同61,367千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から403,226千円(24.8%)増加し、2,028,750千円となりました。これは主として長期借入金が前連結会計年度に比べ411,236千円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末から1,512,324千円(33.3%)増加し、6,055,974千円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末から328,469千円(14.4%)増加し、2,613,986千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ323,951千円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(平成29年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,114,402	1,084,889
営業未収入金	980,142	1,992,002
商品	73,733	41,365
貯蔵品	23,466	15,989
その他	465,584	783,026
貸倒引当金	△20,775	△22,728
流動資産合計	2,636,554	3,894,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,848,192	2,998,700
減価償却累計額	△1,189,752	△1,313,033
建物及び構築物(純額)	1,658,440	1,685,666
土地	923,058	1,006,073
その他	833,625	1,326,194
減価償却累計額	△519,225	△591,730
その他(純額)	314,400	734,464
有形固定資産合計	2,895,898	3,426,204
無形固定資産		
のれん	19,299	10,057
その他	121,020	126,873
無形固定資産合計	140,319	136,930
投資その他の資産		
差入保証金	856,445	908,864
その他	299,949	303,417
投資その他の資産合計	1,156,394	1,212,281
固定資産合計	4,192,612	4,775,416
資産合計	6,829,167	8,669,960

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	163,606	102,238
短期借入金	583,336	1,298,667
1年内返済予定の長期借入金	403,785	498,554
未払法人税等	92,135	227,062
前受金	670,119	880,262
賞与引当金	134,060	34,337
その他	871,083	986,100
流動負債合計	2,918,125	4,027,223
固定負債		
長期借入金	1,137,394	1,548,630
役員退職慰労引当金	3,037	3,436
退職給付に係る負債	8,854	7,009
資産除去債務	367,151	373,202
その他	109,087	96,472
固定負債合計	1,625,524	2,028,750
負債合計	4,543,650	6,055,974
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	175,108	175,108
利益剰余金	2,159,974	2,483,925
自己株式	△288,452	△288,452
株主資本合計	2,281,738	2,605,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,031	6,967
為替換算調整勘定	△252	1,329
その他の包括利益累計額合計	3,778	8,296
純資産合計	2,285,517	2,613,986
負債純資産合計	6,829,167	8,669,960

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,315,417	8,565,668
売上原価	6,600,073	6,949,169
売上総利益	1,715,344	1,616,499
販売費及び一般管理費	1,220,619	1,282,362
営業利益	494,725	334,137
営業外収益		
受取利息	889	716
受取配当金	597	631
補助金収入	48,000	314,908
その他	3,385	9,883
営業外収益合計	52,872	326,140
営業外費用		
支払利息	17,456	17,024
その他	2,262	3,046
営業外費用合計	19,719	20,070
経常利益	527,878	640,206
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	32,740	-
事業譲渡益	3,914	-
特別利益合計	36,655	-
特別損失		
固定資産売却損	-	8,395
減損損失	687	5,526
特別損失合計	687	13,922
税金等調整前四半期純利益	563,846	626,284
法人税、住民税及び事業税	188,688	243,093
法人税等調整額	17,225	2,600
法人税等合計	205,913	245,694
四半期純利益	357,932	380,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	357,932	380,590



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	357,932	380,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,688	2,936
為替換算調整勘定	-	1,581
その他の包括利益合計	2,688	4,517
四半期包括利益	360,620	385,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,620	385,108
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

平成29年10月1日付で、連結子会社でありました株式会社個夢は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間より、上記消滅会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,182,177	37,935	95,305	8,315,417	—	8,315,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,308	—	19,308	△19,308	—
計	8,182,177	57,243	95,305	8,334,726	△19,308	8,315,417
セグメント利益又は 損失(△)	503,626	30,496	△1,820	532,302	△37,576	494,725

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△37,576千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用37,576千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において687千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,454,088	26,171	85,409	8,565,668	—	8,565,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,770	—	19,770	△19,770	—
計	8,454,088	45,941	85,409	8,585,439	△19,770	8,565,668
セグメント利益又は 損失(△)	359,235	23,175	△9,547	372,864	△38,726	334,137

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△38,726千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用38,726千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,526千円であります。